

シラバスの作成に係る取組概要

- 1、9月、前期シラバス総括と後期シラバスの調整。
- 2、11月、次年度の学校運営方針を決定。
- 3、1月、1年間のシラバス総括（シラバスの進捗・内容・目標達成について総括）と次年度への授業内容改善点・目標達成・成績評価方法や基準の見直し。
- 4、1月、次年度科目・年間スケジュール決定。
- 5、2月、時間割り・シラバス決定。
- 6、3月、HP公表。

授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行います。

- 1、成績評価は授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目終了時の考査などの資料を基に行います。
- 2、算出方法は以下の通りです。
 - ①成績評価はA B C Dの4段階とします。
 - ②科目評価は科目終了時に試験、レポート、提出課題などで評価します。
- 3、評価基準は以下の通りです。
 - ①100点満点換算で次の基準を目安とします。
 - ②100～80 B：79～70 C：69～60 D：59～0（追試試験）

考査基準

前期後期終了時に、科目毎の出席を集計し、80%以上の出席率に達しない者、および通常提出課題が100%提出されていない者は対象にはなりません。成績いかににかかわらずD評価となり、追試試験を受験しなければなりません。また、補講時間・追試試験・追試試験・課題提出が合格した場合は成績評価C評価となります。

成績評価の客観的な指標

- ・成績評価は原則として各科目別で行われ、前期末（9月）後期の各学期末（2月）に評価を行います。
- ・成績評価はA B C Dの4段階とします。
- ・GPAとは、客観的な指標の設定には、「A評価」から「D評価」に、それぞれ所定のポイントを掛けた合計点を総科目数で割りスコアを算出し、そのスコアをもって成績分布を算出します。
$$(A \text{ 評価} \times 4 P \times \text{科目数}) + (B \text{ 評価} \times 3 P \times \text{科目数}) + (C \text{ 評価} \times 2 P \times \text{科目数}) + (D \text{ 評価} \times 1 P \times \text{科目数}) \div \text{総科目数} = \text{スコア}$$

卒業認定基準

本校では以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

<ディプロマポリシー>

1. ファッション分野における専門知識と技術を修得し、それを実践的に応用できる能力。
2. 企業人としての基本的な素養を持ち、達成すべき目標や自らが果たすべき責任、役割を自覚し行動できる能力。
3. 広い視野と豊かな人間性、時代の変化に柔軟に対応できる能力。

卒業判定について

- ・各科目の出席率が年間授業時間数の80%になること。
- ・制作課題の規定基準を充たすこと。
- ・課外活動、行事活動の、年度中に定められた回数に参加すること。
- ・該当年次の学費および諸費用を完納すること。